

5月28日(木曜日)「捕囚からの解放」

【新改訳 2017】

エズラ記 1・1-11

「ペルシャの王クロスの第1年に、エレミヤにより告げられた王のことばを実現するために、主は……王クロスの霊を奮い立たせたので、王は王国中におふれを出し、文章にして言った。」(1節)

ここには、歴史の大きな転換のことが記されています。昨日学んだプライベートな祝福とは対照的な、イスラエル人全体の祝福にかかわる出来事です。

クロス王の第一年は、紀元前 538 年です。エレミヤにより告げられた主のことばとは、ユダの民がバビロン捕囚から解放されることを預言したことばのことです(エレミヤ25、29章参照)。クロス王は異教国の王でした。不思議

議なことですが、神はその王をも動かされました。ここにも歴史を支配しておられる神を見ます。

神の祝福は、個人的なものから大きな歴史の流れの中で見られるものまで、極めて多様です。小さい、身近な祝福も、大きい、歴史的な祝福もわかる信仰でありますように（使徒17・22－31、特に26、27節参照）。

～祈り～

主なる神さま。あなたは、まことに歴史をも支配しておられる神であることを覚え、心から賛美いたします。

【学びのために】

クロスはペルシヤの王。その第一年は BC538年と考えられます。Ⅱ歴代誌36・22、23、エシヤ29・10－14、イザヤ45・1－7参照。